

事業者名	株式会社 環境
------	---------

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

阿蘇の資源循環や地球環境を考える会社として、1998年に株式会社環境を設立しました。本業であるごみ処理を通じて環境問題に取り組むことで、阿蘇地域の持続可能な循環型社会の実現に貢献します。また、社員の健康を最優先に考え、「阿蘇市で一番幸せな会社」を目指します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	廃プラスチックの資源化 石炭代替燃料・再生資源として有効活用します	廃プラスチック処理(資源化)量 2023年度872t→2026年度 1,000t
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	木くずの資源化 バイオマスエネルギーとして利用します	木くず処理(資源化)量 2023年度699t→2026年度 950t
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	年齢・ジェンダー・経験を問わない雇用促進 障がい者・若者・高齢者・女性・中途採用を問わずに雇用を 増やします	従業員数 2023年31人→2023年35人

<パートナーシップ>

阿蘇地域で活動しているNPO法人九州バイオマスフォーラムや地元自治体(阿蘇市)と連携し、バイオマス(有機資源)の有効活用と、循環型社会の構築に向けて取り組みます。また、九州北部豪雨や熊本地震の際には、重機での道路復旧作業や行方不明者の捜索にボランティアとして協力し、各方面へ寄付も行いました。共助の精神により当時生まれた社員の士気や職場での一体感、取引先・社会との一体感は、現在も大切にしています。そのような一体感を阿蘇地域に広げていくことが、当社の願いであり、使命でもあると考えています。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	廃プラスチックの資源化として、石炭代替燃料として有効活用しましたが、当初の想定よりも資源化可能な廃プラの受入量が少なかったため、2023年度の実績は872tとなった。2020年度の実績を精査したところ、1070tではなく773tであったため訂正した。	廃プラスチック処理(資源化)量 2020年度1,070t→ 2023年度1,177t	廃プラスチック処理(資源化)量 2020年度773t→ 2023年度872t
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	木くずをバイオマスエネルギーとして有効活用しましたが、当初の想定よりも木くずの受入量が少なかったため、2023年度の実績は699tとなった。2020年度の実績を精査したところ、1244tではなく699tであったため訂正した。 バイオマスエネルギーとして利用します	木くず処理(資源化)量 2020年度1,244t→ 2023年度1,368t	木くず処理(資源化)量 2020年度902t→ 2023年度699t
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	年齢・ジェンダー・経験を問わない雇用促進 障がい者・若者・高齢者・女性・中途採用を問わずに採用活動を行ったが、退職者もあったために、増加数は1名となった。	従業員数 2020年30人→2023 年35人	従業員数 2020年30人→2023 年31人

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。